

## 2006年春季年会（和歌山大）に関するお知らせ

### 1. 企画セッション募集

企画セッションは世話人制です。通常では一つのセッションに入らない（複数セッションにまたがってしまう）話題について、タイムリーで有意義な議論を行うためのものです。通常のセッションより柔軟な構成が可能です。提案される方（採用時には世話人となる、二人以上が望ましい）は、この説明全体をご一読の上、下記の要領でお申し込み下さい。

企画セッションの申込先と問い合わせ先：

年会実行委員会 企画セッション担当 中本泰史 (committee2006@nenkai.asj.or.jp)

締め切り : 2005年10月11日(火)午後5時

申し込み内容： ・セッション名 ・趣旨（簡潔に）  
 ・世話人の氏名、所属、連絡先 ・希望する割当時間

申し込まれた企画は、企画セッションの趣旨に照らし、年会実行委員会で検討した後、理事会で採否を決定します。内容の重複や年会全体の運営などを考慮し、内容や割当時間の調整をお願いすることがあります。ご了承ください。

世話人には企画セッションの運営・準備全般に関わっていただきます。具体的な手順は次の通りです。

- (1) 世話人は企画に相応しい基調講演者を決める。また tennet などを通じてセッションを紹介し、他の講演も募る。
- (2) 講演申し込みが全て集まったら、それらの発表形式（口頭、口頭+ポスター、ポスター）と講演時間を決める。口頭講演は（30-40）分の講演割当も可、他の口頭講演も必要に応じて若干の時間変更可、但し発表形式や割当時間の変更の際は、該当発表者に了承を得る。確定したら、指定された期間内に年会実行委員会に申し込む。
- (3) 年会全体のプログラム確定後、座長を決める。

企画セッションの講演申し込み手順は、通常セッションと異なります。世話人がセッションの全講演予稿をまず集め、プログラム確定後、一括してそれらの登録を行います。その詳しい作業手順や日程、プログラム上の制約については、採用決定後に世話人にお知らせします。良い企画をふるってご応募ください。お待ちしております。

（補足）企画セッションのr講演について

基調講演のうち一部を『r講演』という特別なカテゴリに分類出来ます。これは、その講演者に同一年会中にもう1件a講演を行うことができる権利を付与し、また非会員の場合は経費を免除することで、企画セッションの運営を助けるものです。r講演者の料金は、以下のように扱います。

- ・ 学会員：r講演分も通常と同じ講演登録費を支払う。
- ・ 非会員：企画セッションr講演に関わる参加費・講演登録費に限り免除。

r講演は1企画セッションあたり数件で、認定には年会実行委員会の承認が必要となります。

### 2. 予稿締め切りの前倒しについて

年会予稿の締切は、昨年まで春季は1月上旬、秋季は7月上旬でした。しかし、最近の年会規模の拡大に伴う事務作業の増大に対処するため、今年の秋の年会予稿受付ではこれまでより締切を約1週間はやめ、6月下旬としました。結果的に752件の講演申し込みがありました。これは過去を大幅に上回る新記録で、もし受付の前倒しで皆様のご協力いただければ、事務作業が完全に破綻していたところでした。

そこで、今後は春季年会でも同様の処置をとらせていただきます。但し、年末年始には休業期間があるため、同じ効果を得るにはこれまでより締切を約2週間はやめ、12月20日頃にする必要があります（正確な締切日は、今後発表される年会案内をご参照下さい）。これまでと比べ大幅な前倒しとなるため、理事会でも是非を慎重に議論しましたが、やむを得ない措置ということでご了承いただきました。

皆様にはご不便をおかけしますが、ぜひ事情を斟酌いただき、これまでより早めの準備をお願いします。若手の学生には特に影響が大きいと思いますが、ご指導される立場の皆様も含め、この変更にご留意の上、対処していただくようお願いいたします。これまで通り質の高い予稿が数多く投稿されますように、皆様のご協力をお願いします。

百瀬宗武（年会実行委員長）